



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

「時は金なり」

今年のお正月から1ヶ月が過ぎました。時間の経つのは、早いものです。楽しいことをしているときは、とても短く感じます。また、集中して物事を行っている時も同じです。でも、つらいことややりたくないことはなかなか時間が過ぎません。

時間に関する「ことわざ」を幾つか紹介します。

まず、「歳月人を待たず」、歳月とは、年月のことです。年月は人の都合に関係なく、お構いなしに過ぎていくということです。「少年老いや早く学成りがたし」、若いときは、まだ先がありたくさんあると思っているが、すぐに時間が過ぎて、何も学べなくなってしまう、ということです。「時は金なり」、英語でもタイム、イズ、マネーと言います。時間は、お金と同じように大切ということです。

昔から、「1月は行く 2月は逃げる、3月は去る」と言います。子供たちが学校に来る日も3月まで、そうありません。大切な時間を使って、しっかりと新しく始まる4月の準備をしてきたいものです。



「親子お弁当の日」の取組について

弁当の日の教室は、とてもにぎやかです。

どの子供も嬉しそうに自分の弁当を開いて、みんなで友達の弁当を見ながら、楽しそうに食べています。

本校では、年に2回の弁当の日を実施しています。この取組は、福岡県のみでなく、全国に広がりを見せています。その効果について触れます。

- 食事を作ることの楽しさや達成感を味わうことができる。
- 保護者をはじめとする食生活に関わる人等に対する感謝の心を育てる。
- 家族間のコミュニケーションが深まり、家族における食に関する意識が高まる。

健康に過ごすためには、食べることは欠くことのできないことです。私は「食育」の最終目標は、自分で食事を作れることと思っています。食することの大切さを感じながら、成長してほしいものです。

また、給食感謝週間では、毎日、心を込めてつくってくださる調理員の皆さんに、寄せ書きや手紙等で感謝の気持ちを表すことができました。